

何故中国は警戒され嫌われるか

2022年5月13日

DF

和田文男

資本主義の下で民主主義体制と敷く西側諸国にとって社会主義の下で強権的システム（中国システムと言ってよい）を世界へ浸透させようと世界のあらゆる国際組織に前代未聞の規模と圧力・厚かましきで展開している「中国」は嫌いを乗り越えて懸念となっている。

かつて米国（ニクソン・キッシンジャー政権）により資本主義への門戸開放の橋頭堡が築かれ、何れ民主主義化に向かうかと期待されたが、全くの期待外れで、今の中国政府は民主化どころか政治改革を求める動きには一つ残らず芽のうちに摘み取り、抑え込んでいる。中国システムを外へ及ぼす方針を「1000年の長きにわたって今の体制を維持する」を外交部を通じて公言している。今や中国は民主主義にとって最大の敵となった。

最大の敵となった理由は、中国が現在経済力と軍事力の両面で世界第二位に位置し、2020年代の終わりまでにはGNPで米国を追い抜き、トップに立つことが予想され、益々世界への影響力を強める事から多くの問題を抱える米国が世界のリーダーシップを中国に獲られることになれば、民主主義諸国の未来はどうか極めて心配される。

地理的にも人口面からしても大国中国の採るアクションの影響は大きく、地球にとっての懸念となっている。

I. 警戒され嫌われる理由

1. 中国の国家統治の不透明さ

全ての上に立つ「中国共産党」による国家統治の不透明さと秘密結社の支配

人口	14億人
中国共産党	9000万人（人口の6.4%）
幹部	60万人（人口の0.7%）

徹底したプロパガンダと情報操作で暗部の隠匿

習近平による自らの統治体制の強化（2012年2期目から）

○監視システムの整備（監視カメラと密告）

世界で最も監視されている国民14億人が型にはまった思考でカバーされ、それに服従する14億人を考えると恐ろしい。

○最近では香港の民主主義と政治的自由を完全に潰して支配下にした

西側からの問題指摘に対し非常識な反論

○コロナウイルスの発生源の事実は「武漢の研究所での取り扱い事故」との指摘に対し

中国反論：米国のバイオ研究所から発生

軍人オリンピック大会で米軍が持ち込んだ 等々

2. 世界中と衝突する外交路線で「戦狼外交」を展開し、子供染みだした反論と脅しの言葉を武器として使う中国外交にうんざりする西側

さすがの習近平主席も最近の世界情勢と世界の主要国との関係がギクシャクしている事を考慮して外交戦略の修正かと思われる指示をしている。（西側は懐疑的で次の行動を待っている）

習主席コメント・・・2021年6月2日 中国共産党政治局メンバーに対し

「中国はより穏便な外交政策を模索すべきである」

「友好国を増やし、団結を図り、多くの国の信頼を勝ち取り、親中国的な国際世論の拡大に努めるべし」

「中国の広報活動において謙虚で慎ましく」

3. 立場が弱い相手への脅迫と威嚇

（最近の例）

豪州の 「コロナ発生源の調査の実施を求める」

オーストラリア兵のフェイク画像への謝罪要求

中国の 「豪州は真摯に反省し、二度と犯罪を起こさないと公約する事」を主張

豪州製品（牛肉、小麦、木材、木綿、石炭、海産物、ワイン等）への関税

引き上げを行った。豪州の輸出の 40%を占める中国貿易

中国大使館経由の発表として、中国高官曰く「豪州が中国を敵国扱いするならば中国は敵国になろうではないか」の威嚇

4. 中国が世界の資源や食料の大口消費者で金(融資を含め)に飽かせて買いまくる事への苛立ち

(例)

石油の輸入 4 億 2300 万^ト (第 1 位、 米国第 2 位) 備蓄を倍加させている。その事が石油相場の上昇を引き起こしている。海外石油への依存度 72%

鉱物資源(鉄、銅、亜鉛、アルミニウム、石炭、レアアース 等) 確保のためにあらゆる供給国へ友好的アプローチを行っている。米国の敵国(イラン、ロシア、スーダン)はおろか、米国に近い同盟国(サウジアラビア、UAE, 豪州、ブラジル)、多数のアフリカ諸国が中国の要請に応じている→米国の苛立ち

2020 年輸入実績

石油	2080 億 ^{ドル}	
鉄鉱石	592 億 ^{ドル}	
天然ガス	442 億 ^{ドル}	
金	369 億 ^{ドル}	
半導体	330 億 ^{ドル}	
自動車・車両	452 億 ^{ドル}	
自動車部品	317 億 ^{ドル}	
飛行機・ヘリ	285 億 ^{ドル}	
その他		(砂不足による輸入、世界消費の 57%)
輸入総額	1 兆 6100 億 ^{ドル}	(米国について 2 位)

あらゆる基礎資源、資材を食い荒らす Big-Stomach への苛立ち

アフリカを始めとする発展途上国(資源供給国)へのインフラ整備の融資返済不可に対し、資源との相殺手段も行使している事への苛立ち。

5. 新シルクロード支配(Belt & Road Initiative : BRI)に対する苛立ち

1) BRI=「一帯一路」の宣言(2013 年)

↓

新しい型のネオコロニアリズム(新植民地主義)

↓

中国により無力化された国をバッファーとし、中国に対する国の power を弱めること

を目的とする。

数兆ドルの巨額融資を通じで貿易のためのインフラを整備し、中国製品の輸出の安全ルートを確保すると共に中国への石油・食糧を中心とする資源供給を担保する事を目的とする。



世界の国 138 ヶ国(2/3)が BRI への参加協定に署名

138 ヶ国により→世界の GNP の 55%

人口の 70%

エネルギー資源の 70% が新シルクロード沿いに存在

中国の融資 8 兆ドルによる支配

※債務の罠に陥った国

○バングラデシュ…対外債務の 570 億ドル

○パキスタン …貸手の中心は中国

○スリランカ …GNP840 億ドルに対し中国を中心とする債務 500 億ドル
港の運営権を 99 年間中国へ

2) アフリカ諸国での中国のプレゼンスの突出

(英・仏の歴史的な活動を駆逐)

貿易額 2001 年 108 億ドル

2017 年 1700 億ドル (インフラ整備を中心に)

2020 年 4000 億ドル

借金漬問題 ジンバブエの債務は GNP の 82%

モザンビークの債務は GNP の 102%

中国の融資の方式 = 「オール・イン・ワン方式」

資金+技術 (中国企業) +労働力 (中国人労働者)

3) 東南アジアでの中国のプレゼンスの目立ち

中国のアジアへの直接融資 82 億 5000 万ドル (EU、日本、米国に次いで 4 位)

影響力大のカンボジア・ミャンマー

一方で南シナ海の領有権を主張し、ベトナム・台湾・フィリピン・マレーシア・ブルネイとの対立を抱える

南沙諸島・西沙諸島全域を含め、中国大陸の南岸からマレーシア南部に渡る九段線で区切られた約 350 万平方 km の海域は中国の自国領と主張している。



サイバースペース上の戦争

- 2015年に一旦休戦したが無効に
- 米国（米軍）2010年創設「サイバー軍」6000人の専門家
 - 中国（人民解放軍）61398部隊の指示で数百人のハッカーがインターネット上で活動
- 2018年の「パリ・コール」での世界的セキュリティ確立の合意に米国と中国は署名していない

7. 中国の環境問題に対する表・裏の対応に疑問と苛立ち

現在、世界の温室効果ガス排出量の30%を占める最大の環境汚染国である中国が実現不可能と思われる公約を宣言・・・2020年9月国連総会で

習主席により、 「2060年までにカーボンニュートラルを実現すること目標とする」
「2030年までに二酸化炭素の原単位排出量を2005年比で65%に削減する」
・・・2020年12月気候サミットで

実現の可能性？

○現在1400基の石炭火力発電所により3億7500万トンの石炭灰を空中に放出中

○現在も石炭火力発電所の新設を許可

○中国の石炭消費量は世界の50.6%

米国の4倍

日本の18倍

ドイツの24倍

フランスの128倍

○現在も近隣諸国（特に韓国・日本・台湾）へ大気汚染の悪影響を与えている

○中国国内で水不足が生じている。660都市の内440が水不足と水質の問題を抱えている。

○森林破壊と土壌と水の汚染による荒廃（都市部の発展と工業化による）

チベットでの違法伐採

アフリカ・東南アジアからの木材輸入（違法伐採）

揚子江（長江）の汚染と水位低下（ダムと水力発電の影響）

黄河の冬期乾河化問題（中国の湖の13%が消失）

○2020年中国政府は「自然をコントロールする事で地球温暖化と砂漠化を防止する」と宣言

↓

人工降雨技術の大規模展開

